

「岡山県国土強靱化地域計画修正素案」に対するパブリック・コメントの 実施結果について

「岡山県国土強靱化地域計画修正素案」について、令和2年11月20日から令和2年12月19日までの間、おかやま県民提案制度（パブリック・コメント）により、ご意見を募集したところ、次の5件が寄せられました。

これらのご意見等に対する県の考え方を掲載しておりますのでご覧ください。貴重なご意見ありがとうございました。

<寄せられたご意見と県の考え方等>

番号	該当箇所	意見の概要	県の考え方等
1	P70	<p>「電柱の倒壊を防止する電線共同溝整備」とあるが、国では、「無電柱化」という表現を使用している。</p> <p>国は、時間のかかる従来の電線共同溝方式とは違う「低コスト型無電柱化」を進めており、強靱化のより早い実現のため、「無電柱化」を追加表記したらどうか。</p>	<p>ご意見のとおり、電線共同溝整備に加え、裏配線方式や単独地中化方式などの手法も想定されることから、「電線共同溝整備をはじめとする無電柱化に向けた取組を効率的・効果的に推進する」に修正しました。</p>
2	P59 P73 P75 P78	<p>岡山県は、2年前の7月の大雨で大変な被害にあった。このようなことは2度とあってほしくないが、この時の教訓は、計画に活かされているのか。</p>	<p>第三者による「平成30年7月豪雨災害検証報告書」の提言等を踏まえ、計画の推進方針に、ソフト事業として、「県・市町村相互応援体制の充実、市町村共通の課題解決に向けた連携強化」や「地区防災計画の作成促進」などを、ハード事業として、「平成30年7月豪雨災害による改良復旧事業の推進」や「防災重点ため池の安全対策の推進」などを記載し、地域の強靱化に取り組むこととしています。</p>
3	P56 P62 P78	<p>防災で一番大切なのは、人命が守られることで、そのためには避難が大事だ。</p> <p>どのような対策が書いてあるのか。</p>	<p>市町村が発令する避難情報等を確認できる「総合防災情報システムの安定稼働の確保、継続的な改善」や「防災意識の普及啓発」、「自主防災組織の組織化や避難訓練の実施等、平時の活動活性化の促進」などを計画の推進方針として記載しており、市町村等と連携しながら、県民の皆さんが適切に避難できるよう、取り組むこととしています。</p>

番号	該当箇所	意見の概要	県の考え方
4	P57 P58 P65	新型コロナウイルス感染症対策も記載してほしい。	<p>計画は、対象となる災害リスクを大規模自然災害としているため、新型コロナウイルス感染症等の流行下における自然災害発生という複合災害への対策を記載しており、計画の主な推進方針は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所における感染症等の感染拡大防止に向けた公的備蓄計画の見直し ・感染症対策を踏まえた防災体制の整備 ・感染症対策を踏まえた「避難所運営マニュアル」の作成促進
5	—	防災に関する計画が色々あって違いがよくわからない。この計画は、地域防災計画とは何が違うのか。	<p>地域防災計画は、災害の種類ごとに策定し、災害時に防災関係機関が行う応急対応業務に主眼を置いた計画です。</p> <p>これに対し、国土強靱化地域計画は、災害の種類ごとの対応ではなく、どんな災害が起ころうとも最悪の事態に陥ることを避けられるよう、平時から、ハード・ソフト両面からの対策を進めることにより、大規模自然災害時の被害を最小化し、迅速な復旧・復興を図ることなどを目的に策定するもので、地域防災計画を含めた県域の強靱化を進める各種個別計画の指針となるものです。</p>